

木野

KINO PRESS.
KYOTO SEIKA UNIVERSITY

通信

第 72 号
2019 Sep.



特集

伝統産業の課題から 持続可能な社会を

特集2 さらに進化に向けて、新学部誕生
卒業生インタビュー 周防苑子さん／井上信太さん

特集

伝統産業の課題から 持続可能な社会を

京都精華大学が開学当初から取り組んできた伝統文化における教育研究活動の蓄積を、未来に向けた「持続可能な社会」に生かすための事業が本格的にスタートしました。数百年続く伝統的なものづくりから得られる知見のなかに、世界規模の課題解決につながる革新的な手がかりを求め、世界の研究者と協働して活動の幅を広げています。本事業は文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」にも選定されました。

(写真) アイスランドの染色技術を用い、天然染料を使って染められた魚革



京都精華大学 伝統産業イノベーションセンターとは

40年以上にわたり京都精華大学が培ってきた伝統産業の知見を活用し、社会課題の解決を促す研究活動とその教育への還元を目的に2017年に設立。世界有数の工芸産地・京都を拠点に、さまざまな国や地域の工芸産地や研究機関との連携を行っています。



公式ウェブサイト

伝統文化が拓げる 豊かな未来の可能性

研究事業の正式名称は、「持続可能な社会に向けた伝統文化の『表現』研究」。事業の拠点となっているのは、2017年度に新設した伝統産業イノベーションセンターです。センターでは、「研究」「教育」「社会連携活動」を大きな軸として、世界有数の工芸産地である京都を中心に、さまざまな国や地域の手仕事との連携をめざし活動しています。

なかでも象徴的な研究が「ファッション業界における持続可能な原材料としての魚革の開発」です。近年、欧米のファッション業界では動物愛護や環境保護の観点から、皮革や毛皮の使用が問題視されています。そのなかでヘビ、ワニ、ダチョウなどのエキゾチックレザーの代替品として注目されたのが、食材加工の過程で大量に廃棄される魚の皮でした。現在、アイスランドをはじめとした各国の伝統的な加工技術を採用し、なめした魚の皮(魚革)を持続可能なファッション素材として活用する目的で、本学を含む世界9つの研究機関が共同研究を行っています。本学からはファッション領域と伝統産業領域の研究者として、ファッションコース教員小北光浩と伝統産業イノベーションセンター長の米原有二が、

天然染料を使った京都の伝統染色の技術を魚革に応用する方法を探っています。藍染め、型染め、浸染など多様な京染物の技術のなかで素材に合うものはどれか、ファッション素材に欠かせない鮮やかな色合いを天然染料でどのように実現するのか。こうした課題について、多くの職人の協力を得ながら試行錯誤を繰り返している最中です。この共同研究にはファッション業界をはじめ伝統工芸や漁業といった幅広い分野の人々が関わっており、質のよい革の生産技術向上に加えて、次世代のファッションやものづくりに向けて、多角的な視点からアイデアや技術、知識を交換できる場となっています。センターではほかに、伝統産業の研究を起点として、世界各国の異なる分野の研究者との交流を積極的に行っています。2019年7月にはオランダ・ライデン大学で開催された国際アジア研究者会議(ICAS)の分科会「Humanities across Borders (越境する人文学)」に参加。米原センター長が研究報告を行いました。米原は報告のなかで藍染めという伝統技法について、藍染料をつくるための農業や排水処理などの自然環境、職人の労働報酬など、地域の未来にかかわる多様な課題を含んでいることを指摘しました。



ライデン大学で行われたICASに参加

京都精華大学と 伝統的なものづくり

今回の事業は開学当初から本学が取り組んできた、京都の伝統的なものづくり現場との密接な連携が基盤になっています。1979年に開講し、今では名物科目のひとつになっている「京都の伝統産業演習(旧…学外実習)」では、学生が伝統産業の工房に通い手仕事の技やその精神性を学んでいます。例年30人ほど、過去40年間で累計3500人超の学生が参加してきたこの科目では、京都の伝統産業の工房で2週間の実習を体験します。織物、京友禅、京焼・清水焼、文化財修復など、多岐にわたる工房の協力を得て多くの学生が生きた伝統に触れることができるのです。身につけた技術を自身の表



イスラエルで開催された魚革研究のキックオフミーティング



2018年「八瀬陶窯」調査中に発見された
石黒宗磨作・木葉天目茶碗

現に取り入れる学生もいれば、日本文化への関心を深めて研究者や起業家を目指す学生、演習をきっかけに職人としての道を選んだ卒業生も少なくありません。短い演習期間ですが、工房で弟子のように過ごす日々を通して、学生たちは「伝統」の一端を受け取っています。

京都を起点にした 手仕事の循環

伝統産業イノベーションセンターでは学生の自主活動による、課題解決の実践も支援しています。特別ゼミ「工藝部」は、京都の工房の廃棄品に新しい価値をつけて販売し、売上げを道具や材料の枯渇問題を解決するために還元する「手仕事の循環をつくるプロジェクト」に取り組んでいます。これまでに西陣織や木漆工の工房など10箇所以上を見学し、端切れをブックカバーに加工するなどして学園祭や京都市内の手づくり市で販売。収益の約5万円を丹波漆の継承活動に取り組むNPO法人に寄付しました。この活動は、第12回「京都・文化ベンチャーコンペティション」アイデア部門で京都府知事賞 最優秀賞を受賞しています。このように、大学における教育と伝統的な産業との間で、相互に発展している新しい関係性も模索しています。

世界でもっとも伝統工芸が残る都市のひとつでもある京都は、これからのものづくりを考えるのにふさわしい場所。また、伝統的な手仕事の視点と、伝統産業が抱える課題は、農業・自然環境・労働問題などの地域の未来に関する課題につながるものです。2015年に国連サミットで採択されたSDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) など、世界的に将来の世



「京都の伝統産業演習」は全学部生が受講可能

数百点の陶片に探る 人間国宝の表現

その他の研究活動としては、初の人間国宝であり、近代陶芸を代表する陶芸家・石黒宗磨氏と、彼が晩年を過ごした工房兼住居「八瀬陶窯」の調査研究も進めています。石黒氏は失敗作をすべて割って処分していたため、現存する作品が少ない作家として知られていますが、登り窯で発見された数百点の陶片からは、彼の高い技術と試行錯誤の跡を学ぶことができます。2018年には、調査中に未発表の「木葉天目茶碗」を発見。多くの専門家や陶芸ファンの注目を集めました。

代に負担をかけない社会のあり方が求められるいま、京都精華大学は「表現の大学」として、文化と芸術の力によってよりよい世界の未来に貢献していきたいと考えています。そのために、開学当初から培ってきた京都の伝統産業における研究資源をその大きな足がかりのひとつとし、これからも新しい提案を行っています。

未来の、手仕事のために

伝統産業イノベーションセンター長 米原有二
(1999年度人文学部卒業生)



伝統産業イノベーションセンターは、これまで京都精華大学が培ってきた伝統産業の知見を集約し、より活発な教育・研究活動に還元するために2017年に設立しました。かつてない速度で暮らしのあり方が変化する時代において、1000年前の職人技に挑み続ける伝統産業界の知見は、わたしたちに多くの気づきをもたらせます。たとえばそこには、技術の背景にある物語や、土

地に暮らす人々の営みがあります。そのなかで、自然素材の厳しさや、身体を動かして汗を流すことの意味を理解するのは、伝統産業が次代への継承に苦しむなか、大学が「伝統」に学ぶだけの時期は終わりました。先達への尊敬と深い理解をもとに、文化の本質が受け継がれた「未来」を描き続けることが、伝統の街で育った京都精華大学の使命だと考えています。

さらなる進化に向けて、新学部誕生

京都精華大学は2021年春、日々変化する現代社会のこれからを予測し、よりよい姿にかえていく人を育てるために、2つの新学部「メディア表現学部」と「国際文化学部」を開設します。同時に、5学部を横断しながら学ぶ「人間環境デザインプログラム」を設置します。

※設置構想中。2021年4月に向けて文部科学省へ届出予定

メディア表現学部 国際文化学部

メディア表現学科
人文学科／グローバルスタディーズ学科

メディア表現学部では、メディアとコンテンツの知識とビジネス感覚を身につけたクリエイターを育てます。最先端の表現に不可欠なプログラミングなどのデジタルスキルを学べることも特徴で、1年次にメディアと最先端のテクノロジーへの理解を深め、3専攻に分かれます。「音楽表現専攻」では音楽・音響制作を軸に、表現技法と伝達手段を学びます。「イメージ表現専攻」では動画などの視覚的表現と多様なコンテンツ配信手段の知識を身につけます。「メディア情報専攻」では、これからの人と情報のつながりを学び、Webやアプリ、IoTなど新しいメディアを制作します。ポップカルチャー×テクノロジー×ビジネスで多くの人に幸せを届ける学部です。

2021年度からの学部構成

NEW 国際文化学部	人文学科	メディア表現学部	マンガ学部	デザイン学部	芸術学部
	グローバルスタディーズ学科	メディア表現学科	マンガ学科 アニメーション学科	イラスト学科 ビジュアルデザイン学科 プロダクトデザイン学科 建築学科	造形学科
NEW メディア表現学部	文学	音楽表現／イメージ表現／メディア情報	文学／歴史／社会／日本文化	グラフィックデザイン／デジタルクリエイション	洋画／日本画／立体造形／陶芸／テキスタイル／版画／映像
	グローバル関係／グローバル共生社会／アフリカ・アジア文化	音楽表現／イメージ表現／メディア情報	カートウーン／ストーリーマンガ／新世代マンガ／キャラクターデザイン アニメーション	プロダクトコミュニケーション／ライフクリエイション／ファッション 建築	
NEW 人間環境デザインプログラム	5学部を横断しながら学ぶ「学部横断型学位プログラム」。これからの人びとの暮らしやライフスタイル、都市や社会環境を創造するクリエイターを育成。				

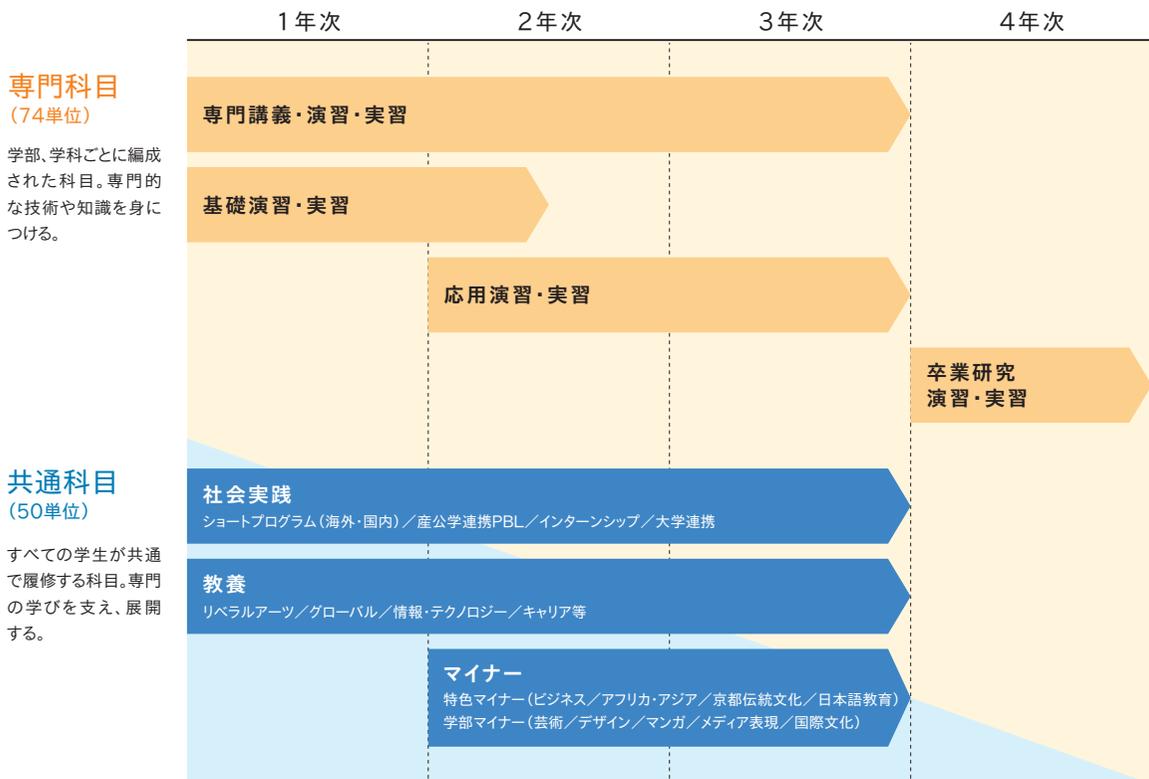
改革の根底にあるビジョンと新しいカリキュラム

2021年度の学部新設は2018年春に定めたビジョンVISION 2024SEIKA(図1)に基づいています。ビジョンは京都精華大学の理念と使命、歴史的蓄積を踏まえて策定しました。教育・研究面では「表現の大学」「リベラルアーツの大学」「グローバルな大学」という3つの軸を重視しています。2021年度はこのビジョンに基づき、教育の質向上をめざして構造を改革。専門教育と共通教育を再編成します(図2)。全学部生が受講する共通科目では教養、社会実践力の育成に力を入れており、加えてもうひとつの専門科目(マイナー科目)を履修することができます。京都精華大学は、「未来を自らつくり出す人間の育成」をさらに推進していきます。



(図1) VISION 2024SEIKA

(図2) 教育構造イメージ





ライブ感覚を大切に
コミュニケーション・アートで
世界を旅しています

井上 信太さん
Shinta Inoue
平面作家
美術学部
ビジュアルコミュニケーションデザイン
1991年卒業



人と出会い、つながり、
地元・滋賀の
魅力を引き出したい

周防 苑子さん
Sonoko Suou
プロダクト作家
アトリエカフェ「VOID A PART」代表
人文学部 社会メディア学科
2011年卒業

卒業生インタビュー

独自の道を歩む京都
現在の活動や今後の夢、セ

精華大学の卒業生に、
イカの思い出を伺いました。



セイカの思い出

みんなで競うように作品をつくって
いました。卒業制作で優秀賞
に選ばれたのはうれしかったですね。



セイカの思い出

学内で編集プロダクションを
つくって活動していました。ダンス
サークル「S.D.Crew」にも所属
していて、かなり派手でした。

セイカでの4年間は本当に濃密な時間
で、ひたすら絵を描いていました。僕だ
けじゃなくて、みんなそう。昼夜を問わ
ず、ずっと大学で制作していました。セ
イカでは学部や学年の隔たりがなく、教
員も含めてみんなが仲間。僕はデザイン
学科でしたが、絵画作品を造形学科の教
員に見てもらったりしていました。大学
の外にも、京都には新しいことや面白い
ことを常に考えている人たちがたくさん
いて、刺激を受けました。セイカと京都
に育てられて、いまの僕があると思っ
ています。

旅をしながら、アートを通じていろ
んな人と交流したいと思い始めたのも学
生の頃。卒業後は和太鼓集団のメンバー
として、ヨーロッパ各地を数年かけてま
わりました。帰国してから本格的な作家活
動として始めたのが『羊飼いのプロジェクト』
です。「顔のない羊」を描いたパネ
ルを世界のいろんな場所で即興的に設置
するという手法で、日本各地からヨー
ロッパ、万里の長城、モンゴルの草原な
どあちこちでやりました。絵を描くだけ
ではなく、作品に興味を持ってまわり
に集まってくれた人との間で生まれるコ
ミュニケーションが好きなんです。

能舞台やボールダンスといった他領域
とのコラボレーションや、子どもを対象
としたワークショップも僕のライフワー
クです。年間1万人以上が参加してく
れる子どもとのアートセッションでは、彼
らのなかにある表現を引き出すのが僕の



「VOID A PART」は10～19時
営業(18時L.O.)。火・水は定休。
食材にこだわったランチも好評

大学卒業後は東京で企業の広報やPR
業務に従事していましたが、4年前、家
庭の事情で実家のある滋賀県へ。長くは
ないつもりでしたが、1冊の本がきっ
かけで、滋賀県内で魅力的な活動をして
いる人がたくさんいることを知りました。
気になる人に会いに行って直接話を聞く
うちに、地元で表現活動がしたいと考え
るようになります。家業の生花店で売り物になら
ない商品をドライフラワーにして、親戚
のガラス工場にあった廃棄ガラスと組み
合わせて誕生したのが『ハコミドリ』と
いうアート作品でした。

琵琶湖沿いに、アトリエカフェ「VOID
A PART(ボイド・ア・パート)」をオープン
したのは3年前。自分のアトリエでもあ
りながら、人がつながり、カルチャーに
触れられる場所をつくりたいと考えたん
です。運営に協力してくれる仲間を探し、
資金はクラウドファンディングで調達。
内装を担当してくれたのは滋賀県立大学
建築デザイン学科の学生たちです。県内
のイベントで知り合った同大学の先生が
興味を持ってくださり、授業の一環とし
て165平米の広いスペースの店舗設計



「ハコミドリ」には、植物の造形が活かされている

や内装に取り組んでくれたんです。ここ
は、いろんな人との出会いに助けられて、
ようやく生まれた場所なんです。現在は
カフェ営業のほか、ワークショップなど
も開催。新しいつながりが生まれる場所
になるようがんばっています。

地元に戻ってからの数年で、私の人生
は大きく変わりました。それは、セイカ
の学生生活で得た行動力があってからこ
そだと思えます。入学当初は周りのみん
なが自分の思うままに好きなことをやっ
ている様子に、カルチャーショックを受
けました。でも次第に、そんな環境のな
かで鍛えられ、やるかやらないかは自分
次第なんだと考えられるようになったん
です。卒業したいまでも、あのころの仲
間たちはよいライバル。自分の活動が届
くように頑張りたいと思っています。



地域の特色を活かして子ども対象のワークショップを
行っている

役目だと考えています。ワークショップ
の後、創作意欲が出た子どもたちが卒業
式の演出を自分たちで企画して盛り上げ
たという話を聞いた時はとてもうれし
かったですね。

これからもライブ感覚を大切に、
アートで人とつながっていききたい。『羊
飼いのプロジェクト』を始めてからもう20
年。羊と一緒に世界一周をしたいなと考
えています。

「羊飼いのプロジェクト」は国や場所によって人の
反応が異なるところが面白い



あの先生元気かな...?
そう思っている卒業生のみなさんへ、
セイカの教員からのメッセージです。



1. さそうの研究室です。遊びに来てください(さそう)
2. ソルク・インスティテュートに行ってきました(新井)
3. 富山妙子展『終わりの始まり 始まりの終わり(II)』にて(ジェニスン)



卒業後の「旅の物語り」
聞かせてください。

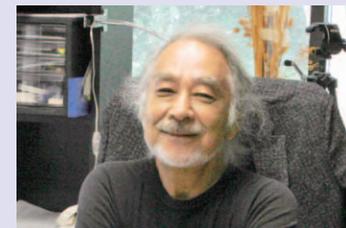
僕も来年卒業です。
同窓会で待っています。

みなさんの新しい作品を
楽しみにしています。



レベッカ・ジェニスン
人文学部総合人文学科

卒業生のみなさん、お元気ですか？
今学期は研究室の本を片付けようと思いつながら、忙しくてまだまだ手がつけられない状態。「世界文学」と「現代美術と場」の科目を担当しながら、研究活動を続けています。3月に沖縄へ現代美術の調査に行き、5月にKYOTO GRAPHIEの関連イベントでフランスの演劇作家と出会い、7月に神奈川県藤野で98歳になる富山妙子さんの展示・イベントを開催しました。今年、何人かの卒業生と再会ができて、とてもうれしかったです。出版関係の仕事、ジェンダー平等の活動、子育てなどの話を聞くことができてよかったです！よろしければ、卒業後の「旅の物語り」聞かせてください。お待ちしております。



新井清一
デザイン学部建築学科

TOKYO OLYMPICに先駆け、建築学科の総同窓会を2020年4～5月頃に開催予定です。同窓会の招待メールがこの夏頃より廻って来るとお思います。同時にKiyokazu ARAI + Arai Architects + Arai Schoolの作品集出版と展覧会開催を考えています。みなさんが大学を卒業し各々の人生を歩んでいる様に、僕も来年卒業いたします。思い起こせば、僕の成長は京都精華大学と、また学生諸君との共同作業とともにありました。その意味を含めた作品集と展覧会を目指します。近況報告は海外関連が多く、建築視察・海外ワークショップを積極的にこなしています。その様子は精華建築のサイトに掲載されています。見てみてください。Facebookでの友達申請も待っています。



さそうあきら
マンガ学部マンガ学科

卒業生のみなさん、お元気ですか？
さそうはすっかりじじいになりました。2019年で6年目を迎えました課外授業ヌードクロッキー(月曜日18:30～20:50、自在館201教室)は、卒業生の交流の場にもなっています。機会があったらぜひ参加して、懐かしい顔を見せてください。自分の仕事としては、3年におよび『バリ島物語』(全5巻)の連載が終わりました。今年中にまた新しい連載が始められるように、鋭意取材を進めているところです。プロになるうがるまいが、みなさんの新しい作品はいつも楽しみにしています。また読ませてください！



『バリ島物語』
(双葉社)

イベントレポート

50年の時を超えて「人間的差別の問題」を議論する



第500回アセンブリーアワー講演会
京都大学総長 山極壽一×京都精華大学学長 ウスビ・サコ
対談「人間的差別の問題」
2019年1月11日(金) 京都精華大学 明窓館 M-201

1968年の開学以来続く公開トークイベント「アセンブリーアワー講演会」の記念すべき500回目が2019年1月に開催されました。テーマは第1回と同じ「人間的差別の問題」。霊長類研究で知られる京都大学総長の山極壽一氏とウスビ・サコ学長が、当時から半世紀を経たいま、改めてこの問題に挑みました。

まず山極氏は毛づくろいなど身体的交流を基盤にするサルと、「言葉」という実体のない記号(フィクション)を用いることでかつてない規模の新たな社会を形成した人類を比較しました。そして差別とは人類がつくりあげた集団構造がフィクションを基盤としている

からこそ生み出されたものであると述べました。

サコ学長が「人間的差別」をこのフィクションによる近代の産物と位置づける一方、山極氏は集団固定化の要因となった農耕牧畜の開始に起源を求めると、異なる意見に議論は白熱。対談の最後にはサコ学長から、大学という教育の場について「人間に対する想像力を養う場所として社会に貢献していきたい」という思いが語られました。

当日は本学最大の講義室である明窓館があふれるほどの大盛況に。来場者から質問も活発に出て、知的好奇心を刺激する一夜になりました。

塩田千春の原点に迫る過去最大規模の個展

洋画分野の卒業生であり、現在ベルリンを拠点に活躍する現代美術家・塩田千春さんの個展「塩田千春展『魂がふるえる』」が、東京六本木の森美術館で開催されています。

同展は、1990年代の初期作品やパフォーミングス記録、代表的な立体作品から新作インスタレーションまで、塩田さんの25年にわたる活動を網羅的に振り返る過去最大規模の個展です。会場では、留学時の様子や、7号館や春秋館ギャラリーでの展示を記録した写真など、在学時の活動が伺える展示も多数見られます。なかでも注



「塩田千春展:魂がふるえる」
2019年6月20日(木)～10月27日(日)
森美術館

目なのが、大学1年次の「自由課題」として描いた油絵の抽象画作品です。この作品以来、塩田さんは油絵の制作を行っていません。現代を代表する作家の学生時代の葛藤を追体験することで、今日の創作の原点を垣間見ることができるといっても、重要な展覧会となっています。本学を出発点に、世界的な芸術祭で活躍する塩田さんの活動の軌跡は、在学生や卒業生にとっても刺激になるはず。来場者は開幕から22日目に10万人を超えました。ぜひみなさんも足を運んでみてください。

貸借対照表 (単位:円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	25,114,419,136	25,864,725,445	△ 750,306,309
有形固定資産	16,960,637,885	17,483,001,459	△ 522,363,574
土地	4,214,967,496	4,227,871,496	△ 12,904,000
建物	10,646,947,382	11,040,422,722	△ 393,475,340
構築物	144,617,375	184,343,994	△ 39,726,619
教育研究用機器備品	777,085,645	871,904,184	△ 94,818,539
管理用機器備品	26,464,906	23,722,524	2,742,382
図書	1,150,469,740	1,134,599,998	15,869,742
車両	85,341	136,541	△ 51,200
特定資産	7,851,147,521	8,044,117,521	△ 192,970,000
第3号基本金引当特定資産	150,000,000	150,000,000	0
退職給与引当特定資産	1,364,487,000	1,357,457,000	7,030,000
減価償却引当特定資産	6,336,660,521	6,536,660,521	△ 200,000,000
その他の固定資産	302,633,730	337,606,465	△ 34,972,735
電話加入権	3,633,424	3,633,424	0
ソフトウェア	8,595,763	26,114,549	△ 17,518,786
有価証券	100,000,000	100,000,000	0
長期貸付金	185,639,223	203,093,172	△ 17,453,949
保証金	4,765,320	4,765,320	0
流動資産	3,762,901,030	3,519,625,411	243,275,619
現金預金	3,505,412,530	3,326,050,456	179,362,074
未収入金	184,035,245	108,986,183	75,049,062
貯蔵品	10,735,387	9,877,273	858,114
短期貸付金	29,169,620	29,869,820	△ 700,200
立替金	4,470,658	8,166,038	△ 3,695,380
前払金	27,586,159	25,327,630	2,258,529
仮払金	1,491,431	11,348,011	△ 9,856,580
資産の部合計	28,877,320,166	29,384,350,856	△ 507,030,690

(単位:円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	2,722,395,010	2,914,307,014	△ 191,912,004
長期借入金	1,336,242,000	1,521,250,000	△ 185,008,000
退職給与引当金	1,386,153,010	1,393,057,014	△ 6,904,004
流動負債	1,378,722,966	1,759,235,625	△ 380,512,659
短期借入金	186,258,000	186,258,000	0
未払金	129,591,096	105,579,258	24,011,838
前受金	925,853,934	1,320,998,528	△ 395,144,594
預り金	137,019,936	146,399,839	△ 9,379,903
負債の部合計	4,101,117,976	4,673,542,639	△ 572,424,663
基本金	29,183,351,660	29,183,979,764	△ 628,104
第1号基本金	28,609,351,660	28,609,979,764	△ 628,104
第3号基本金	150,000,000	150,000,000	0
第4号基本金	424,000,000	424,000,000	0
繰越収支差額	△ 4,407,149,470	△ 4,473,171,547	66,022,077
翌年度繰越収支差額	△ 4,407,149,470	△ 4,473,171,547	66,022,077
純資産の部合計	24,776,202,190	24,710,808,217	65,393,973
負債及び純資産の部合計	28,877,320,166	29,384,350,856	△ 507,030,690

決算および予算について

学校法人京都精華大学の2018年度決算および、
2019年度予算についてご報告いたします。

2018年度決算について

2018年度の事業活動収入は前年度から7千万円減少し、55億3千万円でした。このうち学生納付金は79.4%を占めています。事業活動支出(人件費・経費等)は54億7千万円で、当年度の基本金組入前収支差額は7千万円の収入超過となりました。当年度は基本金の組入が生じなかったため、当年度収支差額も基本金組入前収支差額と同額で7千万円の収入超過です。なお、基本金取崩後の翌年度繰越収支差額は支出超過額が44億1千万円に減少しました。

支払資金(現金・預金)は前年比1億8千万円増の35億1千万円となりました。ただし、大学の資産全体としては固定資産の減少などにより5億1千万円の減少です。また、前受金の減少や借入金の返済等により、負債は5億7千万円が減少しました。これらによって、純資産は7千万円増加しました。

以上の結果、純資産構成比率は1.7%上昇し、85.8%となりました。

2019年度予算について

2019年度は経常支出予算の他に、学生生活支援総合サイト「セイカ・ポータル」の機能強化やマンガ学部の実習室改修工事にかかる予算等を計上しています。また、文部科学省から助成を受けることが決まっている「研究ブランディング事業」にかかる経費も予算化しました。

それらの結果、単年度の事業活動収支は基本財産取得に関わる基本金組入等を含めると1億9千万円の支出超過となりますが、基本金組入前の収支は収入超過を維持します。なお、支払資金(現金・預金)は2018年度末から比べると1年間で5億8千万円の増加を見込んでいます。

事業活動収支予算書 (単位:円)

科 目	金 額
事業活動収入の部	4,584,452,000
学生生徒等納付金	4,584,452,000
手数料	53,600,000
寄付金	24,000,000
経常費等補助金	306,723,000
付随事業収入	353,819,000
雑収入	151,255,000
教育活動収入計	5,473,849,000
事業活動支出の部	2,999,925,000
人件費	2,999,925,000
教育研究経費	1,829,092,000
管理経費	559,860,000
徴収不能額等	7,000,000
教育活動支出計	5,395,877,000
教育活動収支差額	77,972,000
教育活動外収入の部	76,040,000
事業活動収入の部	76,040,000
教育活動外収入計	76,040,000
事業活動支出の部	21,718,000
借入金等利息	21,718,000
教育活動外支出計	21,718,000
教育活動外収支差額	54,322,000
経常収支差額	132,294,000
事業活動収入の部	1,293,000
資産売却差額	1,293,000
その他の特別収入	3,568,000
特別収入計	4,861,000
事業活動支出の部	9,000,000
資産処分差額	9,000,000
特別支出計	9,000,000
特別収支差額	△ 4,139,000
(予備費)	0
基本金組入前当年度収支差額	128,155,000
基本金組入額合計	△ 322,548,000
当年度収支差額	△ 194,393,000
前年度繰越収支差額	△ 4,407,149,470
翌年度繰越収支差額	△ 4,601,542,470
(参考)	
事業活動収入計	5,554,750,000
事業活動支出計	5,426,595,000

資金収支予算書 (単位:円)

科 目	金 額
収入の部	4,584,452,000
学生生徒等納付金収入	4,584,452,000
手数料収入	53,600,000
寄付金収入	25,000,000
補助金収入	306,791,000
資産売却収入	100,000,000
付随事業・収益事業収入	353,819,000
受取利息・配当金収入	76,040,000
雑収入	151,255,000
前受金収入	1,364,996,000
その他の収入	727,360,000
資金収入調整勘定	△ 1,025,853,934
前年度繰越支払資金	3,505,412,530
収入の部合計	10,222,871,596
支出の部	3,007,025,000
人件費支出	2,999,925,000
教育研究経費支出	1,829,092,000
管理経費支出	520,710,000
借入金等利息支出	21,718,000
借入金等返済支出	185,008,000
施設関係支出	71,432,000
設備関係支出	106,608,000
資産運用支出	900,000,000
その他の支出(予備費)	145,091,096
(予備費)	0
資金支出調整勘定	△ 110,000,000
翌年度繰越支払資金	4,083,621,500
支出の部合計	10,222,871,596

事業活動収支計算書 (単位:円)

科 目	金 額
事業活動収入の部	4,392,214,500
学生生徒等納付金	4,392,214,500
手数料	53,019,624
寄付金	24,098,200
経常費等補助金	433,507,004
国庫補助金	431,410,700
地方公共団体補助金	2,096,304
付随事業収入	358,319,907
雑収入	170,456,194
教育活動収入計	5,431,615,429
人件費	3,045,019,637
教育研究経費	1,814,079,061
管理経費	571,131,804
徴収不能額等	6,272,200
教育活動支出計	5,436,502,702
教育活動収支差額	△ 4,887,273
事業活動収入の部	79,413,311
受取利息・配当金	79,413,311
教育活動外収入計	79,413,311
事業活動支出の部	25,058,287
借入金等利息	25,058,287
教育活動外支出計	25,058,287
教育活動外収支差額	54,355,024
経常収支差額	49,467,751
事業活動収入の部	12,510,233
資産売却差額	12,510,233
その他の特別収入	8,875,440
特別収入計	21,385,673
事業活動支出の部	5,340,571
資産処分差額	5,340,571
その他の特別支出	118,880
特別支出計	5,459,451
特別収支差額	15,926,222
基本金組入前当年度収支差額	65,393,973
基本金組入額合計	0
当年度収支差額	65,393,973
前年度繰越収支差額	△ 4,473,171,547
基本金取崩額	628,104
翌年度繰越収支差額	△ 4,407,149,470
(参考)	
事業活動収入計	5,532,414,413
事業活動支出計	5,467,020,440

資金収支計算書 (単位:円)

科 目	金 額
収入の部	4,392,214,500
学生生徒等納付金収入	4,392,214,500
手数料収入	53,019,624
寄付金収入	26,824,200
補助金収入	436,257,004
国庫補助金収入	434,160,700
地方公共団体補助金収入	2,096,304
資産売却収入	25,588,771
付随事業・収益事業収入	358,319,907
受取利息・配当金収入	79,413,311
雑収入	170,456,194
借入金等収入	0
前受金収入	925,853,934
その他の収入	744,201,453
資金収入調整勘定	△ 1,504,942,134
前年度繰越支払資金	3,326,050,456
収入の部合計	9,033,257,220
支出の部	3,051,923,641
人件費支出	3,051,923,641
教育研究経費支出	1,233,098,449
管理経費支出	527,817,415
借入金等利息支出	25,058,287
借入金等返済支出	185,008,000
施設関係支出	43,263,040
設備関係支出	57,146,264
資産運用支出	406,950,000
その他の支出	137,900,049
資金支出調整勘定	△ 140,320,455
翌年度繰越支払資金	3,505,412,530
支出の部合計	9,033,257,220

イベント情報

アセンブリーアワー講演会(2019年度後期)

※予約不要、入場無料、先着順

●「好きだと言えず、好きと歌った。」(講演&パフォーマンス)
11月14日(木)
〔講師〕 Seiho (ビートメイカー/DJ/プロデューサー)

●「何も伝えたいことなんてないけど何かをつくりたい人たちへ」
12月5日(木)
〔講師〕 今泉力哉(映画監督)

●最終講義「扉はひらくいくたびも」
2020年1月8日(水)
〔講師〕 竹宮恵子(本学教員/マンガ家)

〔場所〕 京都精華大学
〔問い合わせ先〕
京都精華大学 社会連携センター
☎075-702-5263



©Keiko TAKEMIVA
竹宮恵子
『風と木の詩』より
「蒼い花」

ギャラリーフロール ※入場無料

●「Structure and Sound
—Perception of Structure by Sound—
ストラクチャー アンド サウンド —音による構造の知覚—」展
9月13日(金)~9月29日(日) 11:00~18:00
〔休館〕 火曜日、水曜日、9月22日(日)
〔主催〕 Obsession Conception Possession 実行委員会

●同時代学生陶芸展
9月5日(木)~9月8日(日) 11:00~18:00
〔主催〕 同時代陶芸展実行委員会

高見島プロジェクト(瀬戸内国際芸術祭2019)

9月28日(土)~11月4日(月)

瀬戸内国際芸術祭の秋会期に開催。教員、卒業生ら有志が作品を多数出展します。

「RAKE UP !」 ※入場無料

開催中~9月16日(月・祝) 11:00~21:00

本学教員・卒業生・在学生のアーティストによるグループ展です。

〔場所〕 HOTEL ANTEROOM KYOTO Gallery9.5
〔作家〕 大八木夏生/ THE COPY TRAVELERS/
大東真也/ NAZE/ やんツー

〔主催〕 京都精華大学
〔問い合わせ先〕
京都精華大学 ギャラリーフロール担当
☎075-702-5263



THE COPY TRAVELERS
「THE COPY TRAVELERSのA室」展示風景
2019年 撮影:守屋友樹

※2019年8月時点の情報です

(2019年度前期)

アセンブリーアワー講演会報告

佐藤秀峰×吉田貴司

2019年5月16日(木)

「で、結局どうやったらマンガ家になれるんスか？」



『ブラックジャックによるしく』等を手がけ、ネット上でのマンガ流通でも注目される佐藤秀峰氏と、かつて佐藤氏の元で働き、ネットで話題を呼びドラマ化もされた『やれたかも委員会』の作者・吉田貴司氏が、マンガ家としての人生をいかに切りひらいてきたか、ユーモアたっぷりに語られました。

岡崎乾二郎

2019年5月23日(木)

「近代に芸術家は何を考えてきたか? 『抽象の力』の余白」

絵画、彫刻、建築など多岐にわたる創作活動のみならず、美術批評家としても高名な岡崎乾二郎氏。2018年末に刊行され評判を呼んでいる大著『抽象の力—近代芸術の解析』に基づきつつ、同書には登場しない作家や作品の紹介もまじえながら、近代芸術の論理を解きほぐす講義となりました。

大山エンリコイサム

2019年6月6日(木)

「反復と人格—クイックターン・ストラクチャーについて」

エアロゾル・ライティングを再解釈したモチーフ「クイックターン・ストラクチャー」をベースとする作品を発表し、現代美術界で注目を集める大山エンリコイサム氏。一般的にはまだ誤解もあるストリートアートについて、そして自作のコンセプトや文脈について、写真や映像も用いて解説していただきました。

haru.

2019年7月4日(木)

「インデペンデントに生きるってどういうこと？」



セクシュアルマイノリティや政治など、一般誌ではタブーとされる話題にも切り込み、絶大な支持を集めるインデペンデント誌『HIGH(er) magazine』。編集長haru.氏を迎え、創刊の背景やこれまでの活動を振り返っていただきました。また事前にTwitterで寄せられた多数の質問にも一つひとつ丁寧に回答されました。

News

02



2019年4月、新しい学生寮が誕生

キャンパスから徒歩10分の位置に学生寮「木野寮」が誕生しました。2018年に完成した「修交館」に続く2つめの寮です。以前の留学生寮をリノベーションして52室の個室を用意し、朝夕に手づくりの食事を提供します。オートロックや防犯カメラを完備し、管理人が住み込みで学生生活をサポート。個室のほかに、友人と利用できる共有スペースもあり、グループ課題や談話など、寮内の交流を生み出しています。

【木野寮概要】

- 賃料：25,000~30,000円/月
- 共益費：8,000円/月
- 食事代：28,000円/月
- ※その他、ネット利用料や保険など
- 契約期間：2年契約(在学中のみ)
- 入居期間：最長4年間
- 部屋数：52室(家具・家電完備)

News

04



デザイン学部学生の作品が左京区記念事業のロゴに選定

「京都市左京区誕生90周年記念事業」は左京区の誕生90周年を記念し、同区が培ってきた伝統を受け継ぎ未来へとつないでいくための事業です。本事業を広くPRするためのロゴマークに、デザイン学部グラフィックデザインコース2年生宮崎ひかるさんの作品が選定されました。

活躍する在学生、卒業生の情報を募集しています。

多数の在学生が社会貢献活動やプロも参加するコンテストでの受賞等広く活躍をしています。詳細はぜひウェブサイトをご覧ください。また、今後も木野通信では、活躍する在学生や卒業生の情報を紹介していく予定です。情報をお持ちの方は、広報グループまでお知らせください。

トピックス

News

01



ナイジェリア連邦共和国クワラ州立大学と基本協定締結

京都精華大学とナイジェリア連邦共和国クワラ州立大学は、学術交流・協力を推進することにより、相互の研究・教育の一層の発展に貢献するため、基本協定を締結しました。2019年5月18日(土)、19日(日)に本学で開催した「日本アフリカ学会」にあわせて、学会初日の5月18日、クワラ州立大学のAbdulRasheed Na'Allah学長とSaka Nuru氏、在日本ナイジェリア大使のMohammed Gana YISA氏、本学ウズビ・サコ学長ほか出席のもと、基本協定調印式を執り行いました。クワラ州立大学は2009年、ナイジェリア・クワラ州の州都イロリンに設立された公立の総合大学です。今回の基本協定締結を受け、今後は研究交流や人材交流を積極的に行っていきます。

News

03



京都精華大学学長表彰 2018年度受賞者決定

同賞は本学の名譽を高める功績を収めた本学関係者を表彰するものです。下記3名が受賞し、2019年度入学式後に表彰式が行われました。

〔学長賞〕 伝統産業イノベーションセンター 特別ゼミ 工芸部〔学生有志グループ〕

〔学長賞〕 篠原ユキオ〔本学名誉教授〕

〔卒業生功労賞〕 仲谷鳩〔人文学部(旧)文化表現学科〕

- 京都精華大学 ウェブサイト
http://www.kyoto-seika.ac.jp
- 広報グループ
kouhou@kyoto-seika.ac.jp

～ご支援くださる皆様へ～
(ご寄付のお願い)

本学のさらなる教育・研究活動の充実、学生活動の支援のため、
温かいご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。

● 寄付募集Webサイト

<https://www.kyoto-seika.ac.jp/donate/>
寄付用途はご意向に沿った運用をさせていただきます。

● 古本募金 Webサイト

<http://kishapon.com/seika/>
読み終わられた本やDVDなどが京都精華大学への寄付となります。

2018年度は法人15社及び個人157名の方々から合計で10,920,071円のご寄付をいただきました。また、40名の方々から書籍類14,141冊(学内回収分も含め)のご提供があり合計で235,942円分のご寄付となりました。卒業生や保護者の方々をはじめ、ご協力いただいた皆様、まことにありがとうございました。

お問い合わせ(リーフレット請求先)
京都精華大学 経営企画グループ 寄付募集担当
E-mail:kikaku@kyoto-seika.ac.jp
TEL 075-702-5201
FAX 075-702-5391

『木野通信』送付先ご住所等の変更を希望される方は、
メールまたはFAXで変更事項をご連絡ください。

京都精華大学 経営企画グループ 木野会事務局
E-mail:kinokai@kyoto-seika.ac.jp
FAX 075-702-5391

表紙の作品

野田ジャスミンさん 2018年度 芸術学部陶芸専攻出身
『記憶のスワン04／祈禱』
素材：ceramic
サイズ：5000×5000×200 mm



用途性を失うことなく、工芸領域内でデザインされた花形の碗を使用したインスタレーション。
自身の表現のルーツを母国タイで見つけ、現代表現による風景をつくり上げるとともに、工芸の多様性を意識させた作品。現在ではアーティスト活動のほかに、陶芸のさまざまな形を提案するアートプロジェクト「HAKUHA PROJECT」を設立し、展覧会の企画やコンセプトに沿った商品開発を行っている。

京都精華大学

芸術学部

[造形学科]
洋画専攻
日本画専攻
立体造形専攻
陶芸専攻
テキスタイル専攻
版画専攻
映像専攻

デザイン学部

[イラスト学科]
イラストコース

[ビジュアルデザイン学科]
グラフィックデザインコース
デジタルクリエイションコース

[プロダクトデザイン学科]
プロダクトコミュニケーションコース
ライフクリエイションコース

[建築学科]
建築コース

マンガ学部

[マンガ学科]
新世代マンガコース
カートゥーンコース
ストーリーマンガコース
キャラクターデザインコース
マンガプロデュースコース
ギャグマンガコース

[アニメーション学科]
アニメーションコース

ポピュラーカルチャー学部

[ポピュラーカルチャー学科]
音楽コース
ファッションコース

人文学部

[総合人文学科]
文学専攻
歴史専攻
社会専攻

大学院

芸術研究科
デザイン研究科
マンガ研究科
人文学研究科

木野通信

KINO PRESS.

木野通信 第72号
2019年9月1日 発行

京都精華大学 広報グループ
〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町137
TEL 075-702-5197 www.kyoto-seika.ac.jp

本冊子は文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」に係る交付金から一部支出しております。